StreamDP仕様

システムの仕様

- ■30チャネル(垂直19ch+水平11ch)
- ■測位:内蔵のエンコーダーとPPS、 外部GNSSトータルステーション
- ■データ取得最高速度:14km/h
- ■スキャン幅:83cm
- ■システムサイズ:116×82cm
- ■全重量:42kg
- ■保護等級:IP65

連続稼働

- ■消費電力(15-19W)
- ■小型、軽量設計
- ■バッテリーのホットスワップ対応
- ■優れた操作性

EST技術

- ■より深い深度と高分解能を実現
- ■特許技術
- ■GRP信号の比類ない制御

環境対応型

- ■アスファルト→回転式車輪
- ■不整地→地形車輪

Leica Zeno FLX100 plus仕様

電源

- ■バッテリー:内蔵(3.8V/6120mAh)
- ■充電時間:4時間でフル充電
- ■電力:DC 5V/2A
- ■稼働時間:20時間以上

器機仕様

- ■重量:319g
- ■寸法:139mm×80.6mm×31mm
- ■落下耐性:最大1.2m
- ■IP(防塵防滴)規格:67

GNSSテクノロジー

- ■リアルタイムの水平精度:RTK/2cm+1ppm*
- ■リアルタイムの高さ精度:RTK/3cm+1ppm*
- ■座標更新レート: 10Hz(0.1秒)
- ■対応アプリ: ZenoMobile/vGIS
- ■対応OS: Android、iOS、Windows
- ■出力プロトコル Zeno Connect 経由でのNMEA

GNSSの初期化

動作時/保管時 温度範囲

- ■・コールドスタート:24秒
- ■•動作温度:-40 to 65 °C
- ■•再取得:2秒
- ■・保管温度:-40 to 80 ℃

衛星測位信号

■ ·GPS(L1 C/A, L2C) ·Glonass(L10F, L20F) ·BeiDou(B1I, B2I)·Galileo(E1B/C, E5b) ·QZSS(L1C/A, L2C) ·SBAS:WAAS, EGNOS, MSAS, GAGAN(L1 C/A)

お問い合わせ



紫田中測量設計事務所

https://tsstanaka.com

京都本社: 〒601-8205 京都市南区久世殿城町220-1

E-mail:office@tsstanaka.com

TEL:075-933-7772 FAX:075-933-7725







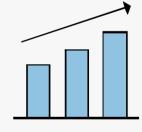
最大深度、高分解能、汎用性の高い設計で、地下探査の生産性向上に貢献

Stream DPは、二重偏波30chのアレイアンテナを採用し、特許技術EsTテクノロジーを搭載した 3D地中探査システムです。二重偏波30chアレイアンテナは、Stream DPを一方向に進めるだけで 横断・縦断の配管を捉えることができ、さらにチャネル間4.5cmの高密度なデータ取得により 空洞探査も行うことができます。

探査深度は、EsTテクノロジーによってこれまでの地中レーダーの深度より1~2m深い深度を実現。 取得データは、解析ソフトiQMAPで波形図だけでなくトモグラフィ(水平断層図)でも解析でき、3D配管図も 簡単に作ることが可能です。

【Stream DPの長所】

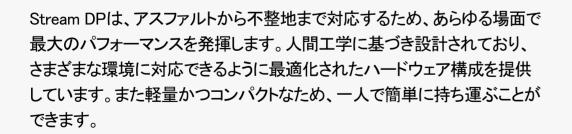
ノンストップ・パフォーマンスで、高い生産性を実現



Stream DPは、二重偏波30チャンネル(19VV+11HH)の大型アレイを搭載し、 一方向のスキャンで横断・縦断の地下埋設物ネットワークを検知して、 3D構築することができます。

また、バッテリーの低消費電力化、電源のホットスワップ技術により、ノンストップでの調査に対応します。

汎用性の高いデザイン、ユーザー設定可能





満足度向上とコスト削減のための、高い効率性

Stream DPでは、システムの展開、組み立て、分解を簡単に行うことができるため、オペレーター1人だけで調査を円滑に進めることができます。 Stream DPの汎用性と測量効率向上により、従来のダウンタイムや制約がなくなり、安全なデータ収集のための時間とコストが大幅に削減されます。



【EsT技術】

EsTは、従来のGPRの定義を覆し、地中レーダーの性能を次のレベルに引き上げる IDS GeoRadarの新しい特許技術です。アンテナの放射能全体を活用し、GPR信号の完全な制御を可能にし、 浅いターゲットと 同じレベルで最も深い信号を引き出すハードウェア・イコライゼーションを実行して、 これまでにない高い検知力を可能にします。 最高のノイズ除去を行い、 低周波と高周波を捕捉することで、

他の技術ソリューションと比較して、到達深度を40%から60%向上させることが可能です。





さまざまな環境に対応する設計:

- A.地形車輪(芝生、不整地など)を使用した 堅牢な設計
- B.都市環境では回転式車輪(後輪)を使用

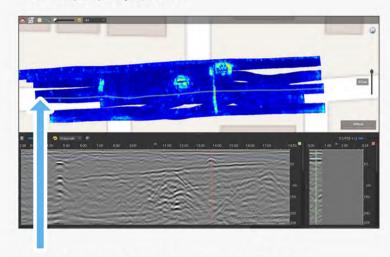
 $\mathfrak s$

IQMAP###IT

StreamDPでのデータの後処理はAiMAPかiQMAPを使用して行うことが多いですが、 当社では主に後処理ソフトウェアiQMAPにて解析を行います。

iQMAPでは、トモグラフィ断層図を使用し解析をすることで、スキャンした水平面を深さ毎に、 反射信号の強度を色マップで表すことができ、面で配管位置や空洞を分かりやすく表示します。 横断・縦断の波形図を呼び出して解析することが可能です。また、トモグラフィに配管図を挿入したり、 波形図に配管ポイントを挿入したりすることができ、それらを結合して配管図を作成することができます。

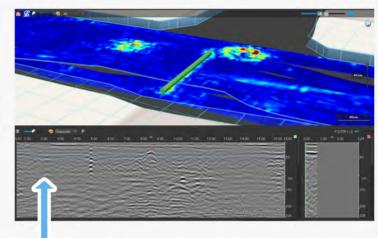
<平面図表示>



Cスキャン(トモグラフィ(断層図))

- ・Cスキャン、Bスキャンを同時に確認し埋設・空洞の判断を行う
- ・Cスキャン、Bスキャン上で埋設物・空洞の挿入を行うことができる

<3D表示>



Bスキャン(レーダー波形図)

- ・レーダー映像の3D表示可能
- ・挿入した埋設物・空洞は※DXFで出力可能
- ※Drawing Exchange Format (図面交換フォーマット。
 AutoCAD等のCADソフトで使われる標準的な図面データ形式)

【AiMAPとiQMAPの違いとは】

	AiMAP	iQMAP
位置付け	高度な後処理・自動解析プラットフォーム	標準搭載のリアルタイムマッピングツール
主な役割	測定後にデータを解析・自動処理 およびレポート作成	測定中にリアルタイムでデータ確認・可視化
使用タイミング	オフィス(スキャン後のデータ処理)	現場(スキャンしながら)
特徴	地中物検出、トレース抽出、 3Dマッピングなどの自動化	スキャン状況の可視化、スキャン漏れ防止

Leica Zeno FLX100 plus

コンパクトなLeica Zeno FLX100 plusスマートアンテナを使用して、iOS、Android、Windows搭載端末上で正確な位置を特定することができます。

シンプルかつ柔軟な方法で空間データを取得し、高精度なデータ取得用に測量ポールにセットしたりユニバーサルハンディ型ホルダーにセットしたりと、自分のワークフローに合う方法で使用でき、FLX100 plusをスマートフォンやタブレット端末と組み合わせれば、好きな方法を選んで作業することが可能です。

また、Leica ZenoMobileをFLX100 plusと併用することで、専門のデータを取得し
Leica Zeno Connectと組み合わせれば、様々なOS上の他のデータ収集アプリで高精度の位置情報を
取得することが可能なコンパクトで堅牢且つ軽量なLeica Zeno FLX100 plusスマートアンテナを
ぜひ一度お試しください。

【特徴とメリット】

① 高精度GNSS測位

LeicaZenoFLX100plusは、複数のGNSS衛星システム(GPS、GLONASS、Galileo, Beidou)に対応しているため高精度な位置情報の把握が可能。

② ローカルおよびリアルタイム測定

リアルタイム補正(RTK)機能により、現場での測量データを即座に取得が可能であり、 作業中に測量の結果を確認することができる。

≪ 使用動作手順 ≫

- a. 接続LED Bluetooth接続時に青色で点滅
- b. GNSS補正インジケーター 補正データを受信すると緑色で点滅
- c. 衛星LED ポジションが利用可能になると緑色で点滅
- d. バッテリーLEDインジケーター
 - 通常の操作中は緑色で点灯
 - 10%以下になると赤色で点滅
 - 充電中は赤色で点灯
 - 充電が完了すると緑色で点灯
- e. 電源ボタンを押して受信機をオン/オフ
- f. ポータアダプターを装着するためのネジ穴
- g. USB-C ポートはUSB2.0をサポート

